



令和7年 10月 1日

目黒区立ひもんや保育園長

心地の良い風が流れるようになった園庭に子どもたちの遊ぶ姿が戻ってきました。3歳児クラスの子がタイヤを動かそうとするものの重いので四苦八苦しています。するとそれに気づいたひとりの子が傍に行き、タイヤを立てるのを手伝ってあげています。立てたタイヤをコロコロ転がして移動させるものの、重くて倒れそうになるとグッと体で支えています。その様子を担任保育士はにこにこしながら見守り「〇〇くん頑張ってる」と声援を送っています。子どもが“ちょっと難しいこと”に挑戦しようとする姿を見守る担任のまなざしをとても温かく感じました。その後、タイヤが倒れてしまうと3人の友達が駆け付け、そこに担任も加わりみんなで「よいしょよいしょ」と運んでいました。やりたいことを叶えるために頑張ってみたり、困っている友達を助けたりと、子どもたちは“こども社会”の中で人との関りの温かさを感じながら生きる力を育んでいるのではないかと思います。

さて今月は、ひもんや保育園最後となる運動会があります。運動会についても子どもたちの主体性を大事にするためにはどうすれば良いか、職員と話し合ってきました。子どもたちの興味や関心、運動の得意、不得意もそれぞれです。“みんな違っていい”“子どものやりたい”を行事、競技として形にするために職員も模索してきました。練習の姿を見てみると、やりたいことを叶えた時に子どもたちの目の輝きや表情が変わるのだな、と実感しています。当日はそんな子どもたちの表情を含め、これまでの取り組みの過程を温かく見守っていただければと思っています。

5 10月の行事予定

運動会 (2~5歳児)
秋の定期健診 (全園児)
幼児お楽しみ会
芋ほり遠足 (4・5歳児)

避難訓練・身体計測

11月の行事予定

焼き芋会
交通安全教室
(3・4・5歳児)

※10月より乳児医療証が新しくなります。
コピーをお持ちください



“アゲハチョウハウス” 登場！

裏庭のミカンの木に例年よりもかなり多い数のアゲハチョウの幼虫がいました。4歳児クラスの子どもが「育てたい」というので、せっかくなので園庭にあるエルマーハウスを利用して“アゲハチョウハウス”を作ってみました。園の子どもたちみんなでアゲハチョウの成長を見守りたいと思います。



卵



幼虫





からだを動かしてあそぶの ☆だいすき☆ ～つくし組（0歳児クラス）・すずらん組（1歳児クラス）～



大好きな大人に追いかけられ振り返りながら嬉しそうに進んでいきます。腕の支持力もつき、トンネルの中をあっという間に進みます。

歩行が安定し、広い場所で引き玩具を引いたり自由にたくさん歩いたりして楽しんでいます。



箱押しの箱を連結車に見立てて荷物を載せて出発！！
力強く足を踏ん張って運びます。



「登るよ」「見てて」「よいしょよいしょ」と園庭の築山に登るのを楽しんでいます。



もうすぐ運動会



2～5歳児クラスの取り組みの様子や見どころをお伝えします。

0・1歳児クラスも参加できる競技もありますので、是非ご参加ください。



ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

日頃の遊びの中で高いところへよじ登ると「みてーたかいよ」と誇らしげに手を振ったり、そこからジャンプすることを楽しんでいます。初めての運動会では保護者の方と一緒に大好きな車に乗って出かけます。到着した果物畑で高い木に実った果物をよじ登って取ったり、畑の畝を飛び越えながら集めていきます。ミキサーに果物を入れたら、今度は親子でギュッと抱きあい（絞る）、手をつないでくるくる回り（洗う）触れ合いをして、最後には美味しいジュースを作ります。でき上がったジュースの登場シーンもお楽しみに！！



たんぽぽ組・こすもす組 （3・4歳児クラス）



日頃の園庭遊びを楽しむ中で、3・4歳児クラスの子どもたちが自然に関わりながら一緒に鉄棒をして遊ぶ姿がありました。年上の子の技を見て「すごい」「どうやるの」と表情を輝かせながら見て真似るたんぽぽ組、それを聞いて得意気になんか技を見せてくれるこすもす組、運動会ではそんな子どもたちの普段の姿を見ていただきたいと思います。

最後にはジャングルを舞台に、たんぽぽ組は可愛いライオンになりきってダンスを踊ります。こすもす組は探検家になりきり、友達と息を合わせて大縄をくぐったり軽快に飛び越えるパフォーマンスを披露します。一人ひとりの身のこなしや決めポーズ、異年齢の子どもたちの関わりに注目しながら、温かいエールをお願いします。

ひまわり組（5歳児クラス）



子どもたちに「運動会どんなことをやりたいか」と聞いてみると「鉄棒やりたい」「跳び箱！」「縄跳びしたい」や「ソーラン節おどりたい」「太鼓たたきたい」と目を輝かせながらやりたいことをたくさん伝えてくれました。その子どもたちの思いを大切に、自分でやりたいことを決め、毎日の保育の中で少しずつ取り組んできました。初めは「できない」などと言ったり、不安そうな表情だったりする子も、友達に「そう。できてるよ」「もっとグッとするといいよ」などとアドバイスをもらい続けてきたことで、「できた」と嬉しそうに教えてくれる姿が見られるようになりました。その頑張りを見て「自分もやってみよう」と挑戦する子がどんどん増えました。

当日は、一人ひとりが「やってみたい」と思ったことに向かう頑張る姿、友達と心を合わせる姿、そして、のびのびと表現する姿をご覧ください。また、ソーラン節では、太鼓の音や動きの迫力にも注目してください。